

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	羽曳野市流域関連公共下水道事業計画（その２）（防災・安全）															
計画の期間	令和０２年度　～　令和０６年度（５年間）											重点配分対象の該当				
交付対象	羽曳野市															
計画の目標	公共下水道施設の老朽化に伴い、事故発生や機能不全を未然に防止するため、限られた財源の中で、ストックマネジメントを踏まえた計画的な長寿命化対策を推進する。															
全体事業費（百万円）		合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		2,690	A	2,690	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R4末	R6末
1	羽曳野市の老朽化している污水管渠をストックマネジメント計画に基き改築し、改築率１００％を目指す。 ストックマネジメント計画 改築延長 改築施工延長（ｍ） / 改築計画延長7,816（ｍ）	0%	50%	100%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	羽曳野市	直接	羽曳野市	管渠（ 汚水）	改築	下水道ストックマネジメ ント事業	調査計画策定他、改築工事 L=7.8km、実施設計	羽曳野市						2,189		策定済
		下水道ストックマネジメント計画、種別 1 は他にポンプ場も含む。																	
	A07-002	下水道	一般	羽曳野市	直接	羽曳野市	管渠（ 雨水）	新設	高鷲排水区雨水管渠	雨水管 1350 L=0.22km	羽曳野市						327		-
	A07-003	下水道	一般	羽曳野市	直接	羽曳野市	ポンプ 場	改築	ポンプ場耐震事業	耐震診断、耐震補強	羽曳野市						143		-
	A07-004	下水道	一般	羽曳野市	直接	羽曳野市	管渠（ 雨水）	新設	浸水シミュレーション	事業面積 191.28ha	羽曳野市						16		-
	A07-005	下水道	一般	羽曳野市	直接	羽曳野市	管渠（ 雨水）	改築	下水道ストックマネジメ ント計画	調査計画策定	羽曳野市						15		策定中
											小計						2,690		
										合計						2,690			

事後評価	
事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
羽曳野市下水道部下水道建設課にてパブリックコメントを実施	令和 8 年 2 月
	公表の方法
	羽曳野市のホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	老朽化している下水道施設の事故発生や機能不全を未然に防止するため、下水道長寿命化計画に基づき污水管渠を改築し、下水道施設を安定的に機能させることができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
次期計画「羽曳野市流域関連公共下水道事業計画（その 3）（防災・安全）」を策定し、下水道施設の長寿命化対策を推進する。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道長寿命化計画における改築率（％）		
	最 終 目標値	100%	事業実施に伴い詳細な調査・設計を行った結果、改築に至らない路線があったため、改築延長が当初計画値を下回った。
	最 終 実績値	68%	